



# 疲弊する暮らし・営業に支援求める 取手新市長に緊急要請 日本共産党



取手市役所庁舎

物価高騰の中、暮らしも営業も深刻化する中で、政府は、物価高騰に対応する追加の地方創生臨時交付金について3月末閣議決定しました。日本共産党は、取手市への交付額2億8100万円の実施計画策定と、市独自の政策検討にあたり、5月8日中村修市長に対し、給食費無償化など7項目の政策を提案し要請しました。  
(市長への要請内容は裏面)

日本共産党は、市民主体の新しい市政への転換を目指し、新年早々から市民有志と無所属市議らと協議開始。その中で「みんなが取手市政を考える会」が発足しました。  
一月末、藤井市長の「今期限りの引退」表明で、前市政継続を掲げた自民中村修県議の活発な動きが表面化しました。

「考える会」は、自民県議(当時)に対抗する共同候補擁立へ精力的に話し合いました。しかし、候補者擁立に至らず、市民有志は「希望の取手をつくる会」を急ぎよ発足。「会」からの要請を受けた小池えつ子日本共産党市議(当時)が出馬を決意、無所属・日本共産党推薦で立候補しました。

## 『新しい市政』めざし 市民と党派を超えた共同に尽す

## 取手市長選

### 小池えつ子さん出馬に広がった期待

#### 誠実な人柄、女性市長に託す市民の願い

子育て、医療や介護、平和など、「市民の命と暮らしが何より大事」、「みんなの声で希望の取手を」との小池さんの訴えに「誠実で優しさで感動」「女性市長がいいね」など、共感と期待が大きく広がりました。

選挙後も「短期間でよく頑張った」「これからも頑張ってもらいたい」と激励の声が寄せられています。

日本共産党は、引き続き「希望の取手をつくる会」の皆さん、広範な市民の皆さんと力を合わせ公約の実現、平和に暮らせる取手市を目指し全力を尽くします。

### 取手市長選挙でのご支援とご協力 ありがとうございました

小池えつ子

ボランティア応援をはじめ、推薦を頂いた日本共産党、主体となった希望の取手をつくる会、たくさんの方々の支えで最後までたたかい抜くことができました。

3/30に記者会見を行ってから、約3週間のたたかいの中、初めての経験を得て人生の財産になる活動



ができたことに心から感謝を申し上げます。

今後もみなさんのお声を力に「誰にでもやさしい取手市」へ力を合わせてまいります。

掲げた公約実現へ精進していきます。本当にありがとうございました。

### 佐野太一です。



先に行われた市議補欠選挙では大変お世話になり本当にありがとうございました。

市議会議員となり身の引き締まる思いと重責を感じるとともに、強いやりがいも同時に感じています。

私が政治の道を目指した理由は、民間の支援活動の限界を政治の責任で解決するためです。

私はカウンセラーとしてまた支援活動を通して様々な人たちのお話を聞き、苦しい立場にいながら声を上げられない人たちの現状を見てきました。そのような人々を政治で支援していきたい、また、市民としてこれまで感じてきた矛盾や理不尽なことを変えていきたいと思っています。

引き続きのご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。

## 取手市長選挙をたたかって

「希望の取手をつくる会」は、市長選をたたかうため急ぎよ立ち上げた団体です。

この会から要請を受けた小池えつ子さんは、取手市議を辞して立候補を決意してくれ、わずか3週間という短期間ながら善戦してくれました。残念な結果ではありましたが、10,639票、投票者

の3人に1人が小池候補に投票してくれたことに希望があると思っています。選挙後、「希望の取手」のメンバーで話し合いを持ち、この会を存続させることを決めました。私たちは、新市長のもとでの取手市政を注視していきたいと思っています。こどもたち、若者、子育て世代、高齢者それ

ぞれの願いが反映される取手市であること、なにより結論ありきで強引に市政を運営してきたこれまでのやり方を変え、住民参加の取手市政を求めていきます。

希望の取手をつくる会  
共同代表 根本 和彦  
森 恵美子

# 「専守防衛」投げすてる 憲法9条違反 戦争国家づくりの軍拡財源・軍需産業支援法案

国会  
緊迫

今国会成立狙う  
岸田政権

## “新たな戦前にさせない” 国民的運動で

岸田政権が今国会で成立を狙う軍拡財源・軍需産業支援法の2法案は、違憲の敵基地攻撃能力保有や軍事費を5年間で45兆円増額を明記した、安保3文書に含まれたもので「戦争国家づくり」を具体化するものです。

軍拡財源法案は、敵基地攻撃能力の導入など大軍拡予算をねん出するためのもので、その結果日本は、米

国、中国に次いで世界第3位の軍事大国となります。

軍需産業支援法案は、国が軍事企業を丸抱えし、武器輸出への助成も進め、戦争を企業のもうけに利用するものです。

同法案は、9日入管法改悪案とともに衆院本会議で賛成多数で可決。与党等は、軍拡財源法案も早期の衆院通過を狙っており、緊迫した状況が続いています。



横断幕を掲げ“憲法9条活かして平和外交を”と訴える左から小池えつ子元市議、加増みつ子・関戸勇・遠山ちえ子・佐野太一市議=5月2日、取手駅東口前

両法案などによる大軍拡は、「専守防衛」の大原則を投げすてるもので、憲法9条違反は明らかです。日本共産党は、戦争国家づくりへの道を許さず国会内外で引き続き全力を尽くします。



プラカードを掲げてアピールする2023憲法大会の参加者=3日、東京都江東区有明防災公園(5月4日付新聞赤旗)

### 電力・ガス・食料品など価格高騰重点支援地方交付金活用など 疲弊する暮らし営業再生への支援に関する緊急要請

日本共産党

緊急要請は、新市長に対し、市民の暮らしと営業を守り、福祉の増進を基本とする取手市政の運営に尽くされることへの期待を表明。そのうえで、物価高騰対策のための今回の地方創成臨時交付金の実施計画策定と、新市政の下での新たな政策内容を加え編成される予定の、補正予算も考慮することを求めています。

以下の7項目に絞った内容です。(本年度当初予算は新市長の下での新政策に考慮し骨格予算とされている)

- 1、子育て支援の拡充
  - ①小中学校給食費の無料化への第一歩として半額補助すること
  - ②保育料の0~2歳児も無料化へ踏み出すこと
  - ③18歳以下の医療費完全無料化へ窓口負担分を補助すること
- 2、47億円の国保基金の還元、国保税を協会けんぽ並みに引き下げること
  - ①最高限度額引き上げを中止し、税率引き下げを行うこと
  - ②18歳以下の国保税均等割を免除すること
- 3、後期高齢者の負担を軽減すること(2022年10月からの負担増分の補助)
- 4、中小企業・家族農業への燃料費助成を行うこと

以上

## 5月3日 憲法記念日 日本各地、 東京、茨城水戸・取手で 違憲!!大軍拡・大増税 No!の声声・・・

憲法施行から76年を迎えた3日、憲法を守り生かそうと全国で集会やデモが開かれました。東京有明防災公園で開かれた集会には25000人が参加。日本共産党志位和夫委員長、4野党の代表とともに、日本を「あらたな戦前にさせない」とアピール。水戸千波公園では、「9条の会」など市民団

体で構成する実行委員会主催で“勝手に決めるな「軍拡」「増税」!武力で平和はつukれない”をスローガンに憲法フェスティバルが行われました。

取手では、日本共産党市議団と「希望の取手をつくる会」の小池えつ子さんらがそろって、憲法守り平和に暮らせる取手市をと訴えました。



憲法フェスティバルで演奏する水戸工業高校ジャズバンド =5月3日、水戸・千波湖畔

## 平和がいいね! 憲法をくらしに活かした政治を取り戻そう!

戦争させない 9条壊すな!  
総がかり取手行動 part 55

5/20 (土)

PM3~4

取手駅東口広場